



久保田由夫 ほっと通信



NO. 95
2019. 12月号
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・フェイスブック・ホームページもご覧ください>



今回の台風災害の早期復旧と検証により今後の災害への備えを

◆12月4日まで3日間、上田市議会では一般質問が行われた。災害情報の発信のあり方、災害の発生状況や復旧事業、ダム機能、避難所への誘導や開設、災害ゴミの処理、り災証明の申請など多岐にわたって台風災害に関することが多く取り上げられた。◆市役所（職員）が住民生活の支える最前線として大きな役割を發揮していることがよくわかった。「検証してから今後役に立ってたい」との答弁があったが、きちんとした検証を望みたい。◆また、医師や看護師、准看護師など医療関係者不足だけでなく、保育士やバス運転手さらに技術職の市職員不足などが浮き彫りになった。すぐには解決できないにしても目標をもって着実に改善したいものだ。◆市議会議員全員が参加する議員クラブ会の自主事業で丸子郷土博物館に併設された上田市公文書館を視察した。古いものでは江戸時代の旧塩川村南方の年貢割付状や関東大震災発生時の様子を記した中塩田村役場の当直日誌などを見ることができる。上田市公文書館目録検索システムにより、ネット検索もできる。貴重な記録が閲覧できる公文書館を利用してもらいたい。（くぼた よしお）



<季節の写真>

ハボタン（丸子修学館高校農業クラブによる農産物販売会にて）高校生が育てたとれたてのおいしい新鮮野菜が販売された。

共産党市議団が予算要望書を提出



11月12日、日本共産党上田市議団（古市順子団長）は、土屋陽一市長に来年度の予算要望書を提出、懇談しました。今回の予算要望書は、昨年との比較で、台風19号災害関連や安心できる公共交通・道路整備を加えて18項目増やして76項目としました。高村京子県議も参加しました。（写真左から、高村県議、久保田市議、井上副市長、土屋市長、古市市議、渡辺市議、成瀬市議）



ゆのさと（湯里天神社）

久保田議員の質問

無料化後に三才山トンネル料金所にある駐車場および公衆トイレはどうか。サテライト市長室では、「東内・西内地区の安心安全環境を守る会」からは、「東内・西内間のどこかにドライバーの休憩施設の設置要望」が出されたが対応は。また、内村橋の復旧の見通しはどうか。

竹花丸子地域自治センター長の答弁

- ・休憩施設➡ 三才山トンネル無料化後は、トイレが廃止される見通し。254号線は、第一次緊急道路に指定されており、地域からの要望もあり休憩施設が可能か財源を含めて県と協議している。
- ・内村橋➡ 復旧に当たっては橋を架けかえることを含めボーリング調査をすすめ国の査定を経て復旧方法が決定する。早期復旧を目指してもらっており、情報が入り次第お知らせする。

久保田議員の質問

平成22年の豪雨災害の際は、豪雨災害等被災者支援金制度を市独自に創設して被災者を支援したが今回も同様の対応をすべきだ。

近藤福祉部長の答弁

被災者の早期生活再建と負担軽減に向け、今回の災害に対する市独自の支援制度を検討している。

久保田議員の質問

今回の台風被害を受けて、市の独自事業の「自主防災組織防災用資器材購入補助金交付要綱」を充実する考えはどうか。

中村総務部長の答弁

平成24年から5年間、補助率を2分の1から3分の2以内へ、上限を5万円から20万円にした経過もある。今回の台風災害を受けて、現在の防災用資器材の購入補助事業の見直しを検討していく。

早期の災害復旧、市独自施策の充実を

久保田議員の質問

鹿教湯温泉、大塩地区、穴沢、茂沢、虚空蔵、新屋地区で起きたがけ崩れや土石流の流失などの復旧工事はどうなるのか。

竹花丸子地域自治センター長の答弁

- ・鹿教湯温泉（湯里天神社）➡ 上田地域振興局林務課により、災害関連緊急治山事業により国に申請して対応をすすめている。
- ・大塩地区➡ 現場には、NTT 光ケーブルと下水道本管があり、通常では時間がかかるので、県において災害査定前に工事が発注できる応急本工事により早期復旧をめざしている。
- ・穴沢、茂沢、虚空蔵、新屋地区➡ 県において、災害関連緊急砂防事業により砂防えん堤の工事を予定しており、説明会を開始している。